

## 令和2年 年末訓示

今年の仕事納めは、来週月曜日ではありますが、働き方改革の一環もあり、出来るだけ皆さんに休んでいただけるよう、本日、年末の訓示を行います。この一年間、職員の皆さん、大変ご苦勞様でございました。

今年は、年が明けてから間もなく、「新型コロナウイルス感染症」への対応が始まり、その後もずーっと続くことになり、大変お疲れ様でした。今もなお、収束の兆しは見えませんが、皆さんの頑張りに、改めて感謝したいと思います。

コロナ対応では、対策本部会議の開催も、36回を数え、大変長丁場となりましたが、村内でクラスターが発生することもなく、何とか乗り切ってこられたのかなと思っています。12月に入り、職員の感染が確認された時には、緊張感も走りましたが、感染した職員も大事には至らず、関係者への拡がりも抑えられて、安堵したところでした。ただし、結果的に、障がい福祉課の業務がほぼ止まってしまったことは、感染症に対する危機管理対応として、今後の大きな課題ではないかと感じています。

全国的には感染拡大が続いており、油断できない状況ですので、年末年始の休みには入りますが、引き続き、しっかりと対応してまいりましょう。

そのコロナ対応という意味では、健康増進課の皆さんは、大変な一年だったと思います。災害に匹敵するような事態の中、一日も気の休まる日はなかったのではないのでしょうか。特に、情報収集の窓口として、いろいろなことが要求され、保健所との調整も多岐にわたり、本当にご苦勞様でした。年明けには、ワクチン接種への対応も新たに加わりますが、何とか、この厳しい状況を一緒に乗り越えてまいりましょう。

そして、産業政策課の皆さんも大変ご苦勞様でした。事業者支援として、数多くの施策を同時並行で進めてまいりましたので、制度設計から周知、一連の事務処理と本当に多忙を極めた日々であったと思います。皆さんたちの頑張りは、間違いなく、事業者の皆さんに伝わり、多くの感謝の言葉を頂いています。本当にお疲れ様でした。また、今日から、「とうかいI～MOの割引キャンペーン事業」もスタートしますので、引き続き、よろしくお願ひします。

その他の役場の仕事について、いくつか取り上げてみたいと思います。

子育て支援では、「けやきの杜保育所」と「キララ東海ナーサリー」が開設し、待機児童問題の解消に向けて一歩前進しましたが、まだ解消までには至っておりませんので、引き続き、取り組みを工夫してまいりましょう。一方で、幼稚園の統廃合の問題では、保護者等から非常に厳しいご意見を頂きましたが、村

の方向性を示すことができました。こうした施設再編の進め方は、今後、同様の事例を検討していくうえで、大きな教訓を残したと思います。全ての職員に、自分ごととして受け止めてもらいたいと思います。改めて、最前線で奮闘されている子育て支援課の皆さん、大変ご苦勞様でした。まだ検討課題は残っていますが、しっかりと説明責任を果たしてまいりましょう。

次に、区画整理事業ですが、駅西地区では、駅西口広場再整備工事がもうすぐ完成となり、今後、清算事務へと移ってまいります。駅東地区も清算事務が進んでおり、駅西第二地区ではついに3月で事業終結となります。土地区画整理事業4会計のうち、3会計は終盤までできました。改めて、担当課の皆さんの頑張りに敬意を表したいと思います。本当にご苦勞様でした。中央地区については、いよいよ勝木田下の内線が3月に開通します。残りの事業も着実に進めながら、新たな市街地形成を図ってまいりましょう。

次に、「(仮称)歴史と未来の交流館」ですが、建物が完成し、来週月曜日に内覧会を開催します。今後も、展示制作、文化財移転、引っ越しとスケジュールはタイトですが、生涯学習課の皆さんには、ここが頑張り時ですので、よろしくお願いします。そうした皆さんの努力が、7月に開館した時に、多くの村民の皆様の笑顔で報われることを願っています。

今年は、第6次総合計画の初年度ということもあり、計画の周知や人づくりに向けた取り組みを始めようとしていましたが、コロナ禍ということで、思うように進められませんでした。一方で、プロジェクト推進のために専任職員を配置しチーム編成を行いながら取り組んできたところであり、デジタル化への対応を早期に進めるべく「とうかいまるごとデジタル化構想」を打ち出すことができました。この構想の推進により、行政サービスの向上と働き方改革を共に実現してまいりましょう。

最後に、原子力政策においても触れておきたいと思います。東海第二発電所については、安全性向上対策工事が進められており、その進捗状況は、今後とも注視していかなければなりません。一方で、村としましては、今年度は広域避難訓練が実施出来なかったものの、広域避難計画(案)の検証は、引き続き、進めて参りたいと考えております。感染症への対応も加わり、課題は多いですが、しっかりと対応してまいりましょう。また、原発を自分のこととして考える「自分ごと化会議」もスタートしました。新しいチャレンジですが、素晴らしい成果が生まれることを期待しています。

このほかにも、「国勢調査」「各種計画の策定」「GIGAスクールの推進」など、各課で取り組んでもらった仕事は多数あります。一つひとつお話することはできませんが、全体としては、コロナ禍においても、ある程度、事業を推進できたのではないかと感じております。大変ご苦勞様でした。

今年の年末年始の休みは6日間ですが、有給休暇も上手に使いながら、しっかりとリフレッシュしてください。特に、今年は、コロナ禍ということで、家族とステイホームと言われています。家族との時間を大切にしてください。

結びに、今年一年の皆さんの働きに改めて感謝申し上げますとともに、年明けには、皆さんが元気に顔を揃えていただけるよう祈念しております。

皆さん、良い年をお迎えください。